

# ～日本海にぎわい・交流海道ネットワーク～ にぎわい通信

12月号(通巻102号)

## みなと観光交流促進プロジェクト始動

### 【福井県敦賀市】

港を核とした観光振興を図る「みなと観光交流促進プロジェクト」の実施港として敦賀港が選定されたことを受け、9月7日、敦賀港みなと観光交流促進協議会を設立しました。

この協議会は、市内の学識経験者やNPO法人代表、行政関係者ら計15名で構成され、会長に選出された敦賀短期大学の多に教授を中心に、敦賀港を活かした観光振興策についての議論を重ねていきます。

また、このプロジェクトにおける社会実験として、10月21日のJR直流化開業に合わせ、敦賀港がかつてポーランド孤児やユダヤ難民の上陸地となった史



敦賀港みなと観光交流促進シンポジウム(10月28日)



敦賀港みなと観光交流促進協議会(9月25日)

実をテーマとしたパネル展を11月26日まで行うとともに、10月28日にはワルシャワ大学のエヴァ・ルトコフスカ教授らを招いた「敦賀港みなと観光交流促進シンポジウム」や国土交通省の監督測量船「まつかぜ」の体験乗船会も開催し、敦賀港のPR手法について、一つの可能性を提示しました。

今後は、このイベント(社会実験)への来場者によるアンケート調査の結果などについても協議会で議論し、敦賀港の魅力を活かした観光振興のための行動計画「みなと観光交流促進計画」の策定に取り組んでいきます。  
(※パネル展は、平成19年3月末まで延長)



パネル展「人道の港 敦賀」



監督測量船「まつかぜ」の体験乗船会(10月28日)

# ☆夏のイベント 帆船「あこがれ」・大型巡視船「えちご」入港！！

## 【新潟県上越市】

直江津港は、国際コンテナ航路や、佐渡・北海道・九州への定期フェリー航路があり、新潟県内はもちろん長野県の方々や企業からも多に利用されている海の玄関口となっていますが、港そのものにも親しんでいただくため、毎年夏には様々なイベントを行い、賑わい溢れる直江津港を目指しています。

本年は、7月23、24日に、帆船「あこがれ」を招致し、一般公開と体験航海を行いました。当日は、約2,000人の方々が港を訪れ、希望者約60名がセイルトレーニング（帆船の帆を広げる訓練）を行ったほか、地元の小中学生59人が体験航海に参加し、帆船の魅力を体感しました。

8月27日には新潟海上保安部に所属しているヘリコプター搭載型大型巡視船「えちご」が寄航し、事前抽選によって選ばれた地元や県外の約1,800名が午前と午後に分かれて乗船し、沖合いで実践しながら行われた模擬訓練を見学しました。

このほか船の公開以外にも、みなと親子見学会やフェリーにまつわる映画上映会など、いろいろなイベントを通じて、多くの皆さんに海や船、港に親しんでいただきました。



＜セイルトレーニングで帆を広げた「あこがれ」＞



＜体験乗船者で賑わう「えちご」＞

## 「運河まつり2006」開催！

### 【富山県富山市】

平成18年10月8日（日）に富岩運河（伏木富山港・富山地区）で開催された「運河まつり2006」についてご紹介します。

この運河まつりは、地元住民が中心となって活動している「運河のまちを愛する会」が主催して開催されており、今年で4回目を数え、毎年多くの人で賑わっています。

運河まつりのイベントには、メインイベントである「運河クルーズ」をはじめ、富岩運河でカヌー・ボートに乗れる「カヌー体験会」・「ボート体験教室」、YOSAKOIなどがあります。なかでも、長年県民から要望のあった富岩運河の遊覧船の就航が今年の運河クルーズで実現（昨年まではプレジャーボート）し、地元のメディアにもとりあげられるなど、県民の注目を集めるイベントとなっています。

当日はときおり降る雨にもかかわらず行列ができるイベントもあり、今年も数多くの人で賑わいました。



運河クルーズ中島閘門通過体験



YOSAKOI



## 各海岸に打ち寄せられる漂着物

### 漂着ごみをアートに

#### 【石川県七尾市】

7月の大雨の影響で七尾市内の海岸に漂着した流木を利用して、10月28日、七尾市能登島の祖母ヶ浦漁港わんぱく公園で市民参加型のイベント「流木アート体験」が開催されました。

当日は、いい天気の中、大小さまざまな約10トンの流木を使用して、講師の先生の指導のもと、流木材の特徴を生かしたモニュメント作りが行なわれました。参加者たちは、アート作りに苦労しながらも楽しみながら取り組んでいました。

芸術という新たな形で流木の処分を図りながら、市民に漂着ごみへの関心を高めるいい機会となりました。



流木アート作業の様子

## NPOの活動紹介

### にいがた湊あねさま倶楽部

地域に根ざした女性の視点から新潟の「みなと」の魅力を議論、情報発信し、より地域の期待に応えられる「みなとづくり、まちづくり」に貢献することを目的に平成15年9月に発足、同17年8月にNPO法人となる。

9月9日夜、新潟みなとトンネルの左岸換気塔である「入船みなとタワー」と「みなと」の新しい魅力をアピールしようと、「にいがた湊の十五夜」を開催しました。

タワー広場に集まった約1,000名の人たちは「お月見」と「タワーの光あそび」を楽しみました。



タワーライトアップ



キャンドルが並べられた大階段



信濃川とタワーに光を映す月

(写真右端は、タワーの壁面に反射している月と信濃川)

#### 編集・お問い合わせ先

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局

北陸地方整備局 港湾計画課 村崎

TEL 025-370-6604 FAX 025-280-8783